

No	近畿大学逐次刊行物誌名
1	近大法学 [005203-0100]
2	近畿大学商経学叢 [005079-0100]
3	近畿大学理工学部研究報告 [005108-0100]
4	近畿大学農学部紀要 [005098-0100]
5	近畿大学農学部水産経済研究室研究調査報告 [005099-0100]
6	Acta Medica Kinki University, [900305-0100]
7	近畿大学医学雑誌 [005060-0100]
8	(教養部) 研究紀要 [005068-0100]
9	近畿大学短大論集 [005096-0100]
10	国際交流研究 [900347-0100]
11	世界経済問題研究叢書 [005091-0100]
12	世界経済リポート [005092-0100]
13	世界経済研究年報 [032069-0100]
14	流通研究 [900307-0100]
15	職業科学 [009161-0100]
16	近畿大学原子力研究所年報 [005072-0100]
17	労働問題研究 [005110-0100]
18	環境科学研究所研究報告 [900308-0100]
19	環境科学研究所所報 [900309-0100]
20	近畿アルミニウム表面処理研究会誌 [005055-0100]
21	比較法・政治研究 [900379-0100]
22	教育研究紀要 [005066-0100]
23	近畿大学ライフサイエンス研究報告 [900306-0100]
24	同和研究資料 [005097-0100]
25	近畿大学産業法律情報研究所紀要：情報社会 [900376-0100]
26	朝鮮語教育研究 [900378-0100]
27	近畿大学工学部研究報告 [005078-0100]
28	近畿大学工学部紀要：人文・社会科学篇 [005076-0100]
29	近畿大学九州工学部研究報告：理工学篇 [005056-0100]
30	近畿大学九州工学部教養論集 [005064-0100]
31	近畿大学女子短期大学研究紀要 [900018-0100]
32	近畿大学豊岡女子短期大学紀要 [036569-0100]
33	近畿大学青踏女子短期大学紀要 [900020-0100]
34	近代風土 [005189-0100]

## 近畿大学逐次刊行物 紹介—10

### 近畿大学商経学叢



『商経学叢』の発行は、昭和27年3月における大学院商学研究科商学専攻修士課程の設置を契機にしている。すなわち、このモメンタムに際して、昭和24年に発足していた当時の商学部の専任教員を中核とした「近畿大学商経学会」が結成され、これの機関誌として『商経学叢』が、昭和27年12月1日に創刊されたからである。

発行母体である「近畿大学商経学会」は、商学部から昭和28年3月に新設された商経学部を引き継がれて、商経学部の専任教員の「商学、経営学、経済学に関する調査研究及びその成果の発表を目的とする」（商経学会規約第3条）ために、『商経学叢』は、創刊以来原則として年3回刊行し、現在に至っている。その間に、近畿大学創立30周年記念論文集（昭和30年11月）と近畿大学創立45周年記念論文集（昭和46年3月）を発行している。

ある調査（松本幸一「大学紀要試論」『PINUS』22、1987）によると、大学紀要が隔年に刊行、または不定期刊行、不明というのが、合計で22.5%も存在するという。さらに、社会科学系の分野での大学紀要は、学会誌や協会誌よりも、調査・研究の発表機関としての役割の比重が、極めて大きいという調査結果をも紹介している。

こうした点、『商経学叢』が創刊以来年3回のペースで発行されてきたことは、大学当局と商経学部の教員の熱意と努力によるものであることが理解されよう。さらに、今後商経学部が商学・経営学・経済学の複合学部としてのユニークな研究・調査結果を広く公開していくために、『商経学叢』が果たす役割は、今後益々重要になるものと予想される。

昭和63年度より、『商経学叢』は、従来の判を大型にし、装丁を改め、目次を表紙に呈示することを予定している。しかしながら、このような変更にもかかわらず、『商経学叢』の商経学会の機関誌としての性格は不変である。さらに一層の充実を図るために、多くの方々からのご教示・ご支援をいただきたい。

（編集委員・平井聖司）